



今だからできることを

—発想力とセンスを働かせて—

校長 千葉 貴樹

「元気で過ごしているかな」「お家でちゃんとお勉強しているかな」・・・児童相談日に学校に来た子どもたちに声をかけると、いつもの笑顔と元気な声が返ってきます。その表情の奥底には、早く学校が再開することを待ちわびる声にならない強い思いを感じます。笑顔と活気に満ちた子どもたちの姿や声が飛び交う、本来の学校の姿に戻ることを切に願う気持ちは、子どもたち、お家の方々、地域の方々、そして本校の教職員、皆同じです。

私は教職員に、自省心をもつことは大切なことですが、「どうにもならないこと」「思うようにいかないこと」をいつまでも悔やんだり、憤ったりしても仕方がない。「決められた枠」「制限された枠」の中で、「今できること」をできる限り精一杯行うことが大切であると、自戒を込めていつも話しています。

その「今できること」を考える時に大切なことは、発想力とセンスだと思います。今まで極めて当たり前のことだった、子どもたちが朝、学校に来て学習し友達と遊ぶ、授業が終わったら家に帰るといった中で、何気なく行っていたこと、やろうと思ってもしなかったこと、やろうとも思わなかったことを、発想力とセンスを働かせ、今一度見つめ直してみると、今までに気づかなかった事柄の意義や価値が見出せ、「今だからできること」が見つかるものです。もしかしたら、周りの方への「感謝」や、自分の意外な「よさ」にも気付くかもしれません。

臨時休業が延長されたことに伴い、本校の教員も学校再開を見据えて、発想力とセンスを働かせ、家庭学習の内容等を考えています。また、限られた時間にはなりますが、学校メール等でお知らせしている「ガイダンス日」を設け、健康観察や家庭学習に関する必要な連絡だけではなく、「学校(担任)と子どもたちとの心をつなぐ」大切な時間にしたいと考えておりますので、ご理解・ご協力をお願いいたします。

チーム幸小で創るネットワーク型の学校経営の推進

幸小の子どもたちが、心優しく豊かに成長できることを願って、学校と家庭、地域が一体となり「チーム幸小」で、以下の点を学校経営の柱にして、立川市が目指すネットワーク型の学校経営を推進していきます。

今年度も引き続き、ご理解・ご協力・ご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

◆「見つけ 気づき かかわって つなげる」学校経営の推進

○学校も子どもも、それぞれの立場で状況を見つめる中で、課題や取り組む内容を焦点化し、組織を生かして、子どもであれば友達と関わり合いながら、解決・達成・改善・向上・自信に確実につなげていけるように学校経営を行っていきます。

○学校や家庭、地域、関係機関における子どもたちの様々な取組が個々にバラバラに行われるのではなく、それぞれが関連し合い、つながるように学校経営を行っていきます。

◆目指す学校像「今日が楽しく 明日が待ち遠しい学校」の設定

○子どもたちが「自分で・自分から・自分たちで」取り組む中で、「分かった・できた・頑張れた・関われた」と実感する、つまり「今日が楽しく」、さらに、「明日は、これを頑張りたい」と明日のめあてと意欲をもつ、つまり「明日が待ち遠しい」と実感する、そういったことが毎日繰り返される学校を目指していきます。

○我々教員にとっても、子どもたちが一生懸命に取り組み、一つ一つの課題を達成している姿を把握できれば楽しくなり、明日は子どもたちにこんなことにも挑戦させたいと新たな目標をもって、明日が待ち遠しくなるような学校を目指していきます。

○保護者の方にとっても、子どもが家に帰って学校の様子を楽しそうに話していると、保護者の方も楽しくなり、明日も幸小に通わせたいと思っていただけるような学校を目指していきます。

○これらのことは地域にも言えることです。地域で元気に笑顔で楽しそうに学校に通う子どもたちを見て、我が町(幸小)で育てたいと願う・・・そのような学校を目指していきます。

◆学校・家庭・地域が連携・協働し、「共育」の拠点となる地域に根ざした学校づくりの推進

○子どもたちを、学校・家庭・地域が連携・協働し、「共に育てる」ことを通して、子どもたちだけが育つのではなくて、学校も、保護者・地域の方も「共に育つ」ことにつなげていくことが重要であると考えています。

○教員が変わろうとも、幸小学区の子どものに必要な教育・環境を整えていく地域に根ざした学校づくりを力強く推進するため、コミュニティスクールの体制強化を進めていきます。

○学校と保護者の方も含め学校外の双方向の関係を重視して、信頼される学校づくりを目指します。



5月の生活目標「友達を大切にしよう。」

5月の保健目標「^{ととの}せいかつのリズムを整えよう。」

友達を大切にする第一歩は、友達の名前を正しく呼ぶことです。〇〇さんと敬称をつけて呼ぶことで、後に続く言葉が優しくなります。ご家庭でも話題にしてみてください。

新しく幸小に赴任された教職員からの挨拶

『よろしくお願ひいたします』

主任教諭 近藤 晃

市内七小から転任してきました。特別支援教室「キラリ」を担当します。熊本出身、アウトドア（山登り・スキー・畑仕事 etc…）が大好きです。4月の始業式で、子どもたちがしっかり話を聞いている姿を見て、とても素晴らしく思いました。子どもたちの得意なところをもっと伸ばし、苦手なことを少しずつ減らしていくお手伝いできればと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

『よろしくお願ひいたします』

教諭 加藤 成将

今年度、新規採用で幸小に着任いたしました加藤です。昨年度も産休代替教員として一年間、幸小の子どもたちと過ごしていましたが、また心機一転し、やっていきたいと思っています。子どもたちが安心して楽しい学校生活を送れるよう尽力して参ります。どうぞよろしくお願ひいたします。

『よろしくお願ひいたします』

教諭 井上 友里恵

この度新規採用として幸小に着任いたしました、井上です。以前は、小平市立小平第四小学校で臨時的任用教員として勤務していました。一年間学んだことを幸小で生かし、子どもたちと共に成長していきたいです。まだまだ慣れないことも多いですが、子どもたち一人一人が楽しい学校生活を送れるよう励んで参ります。どうぞよろしくお願ひいたします。

『よろしくお願ひいたします』

教諭 関根 拓音

今年度、産休代替で着任いたしました関根拓音です。この3月、帝京大学教育学部初等教育学科を卒業しました。教員としての第一歩が幸小学校であること嬉しく思っています。これから子どもたちと明るく楽しい毎日を送るために一日一日に全力を注いでいきます。また、みなさまにご迷惑をおかけしてしまうことがあるかもしれませんが、若さを生かして頑張っていきたいと思っています。どうぞよろしくお願ひいたします。

『よろしくお願ひ致します』

教諭 緑川 藍

今年度、産休代替で着任いたしました緑川と申します。図工の指導を担当します。幸小学校の子ども達一人一人が楽しい図工の学習に取り組めるように励んで参ります。どうぞよろしくお願ひいたします。

こちらこそ、
どうぞ
よろしく
お願ひ
します！



『よろしくお願ひいたします』

学校事務 菅間 史代

今年度より着任いたしました、事務支援職員の菅間史代です。子ども達が楽しい学校生活を送れるように、精一杯お手伝いをさせていただきます。どうぞよろしくお願ひいたします。

名札は「さかもと」

学校管理員 坂本 順一

商業施設の警備から、学校管理員として、4月より幸小にお世話になることになりました。幸町団地から徒歩で通っています。皆さんが安心して学校生活を送れますよう、少しでもお役に立てればと思っています。どうぞよろしくお願ひいたします。あ！！それから1年生の見守りもしていますので、「さかもと」を見たら声をかけて下さいね。